

労働力調査（基本集計）2022年（令和4年）平均結果の要約

1. 2022年平均の完全失業率は2.6%と、前年に比べ0.2ポイントの低下 完全失業者数は179万人と16万人減少（3年ぶりの減少）

- 完全失業率について、男性は2.8%と0.3ポイントの低下、女性は2.4%と0.1ポイントの低下
(→「本文」13、14ページ)

2. 2022年平均の就業者数は6723万人と、前年に比べ10万人増加（2年連続の増加）

- 男性は3699万人と12万人の減少、女性は3024万人と22万人の増加
- 15～64歳の就業者数は5810万人と6万人の増加、65歳以上の就業者数は912万人と3万人の増加
(→「本文」4ページ)

図 完全失業率及び就業者の対前年増減の推移

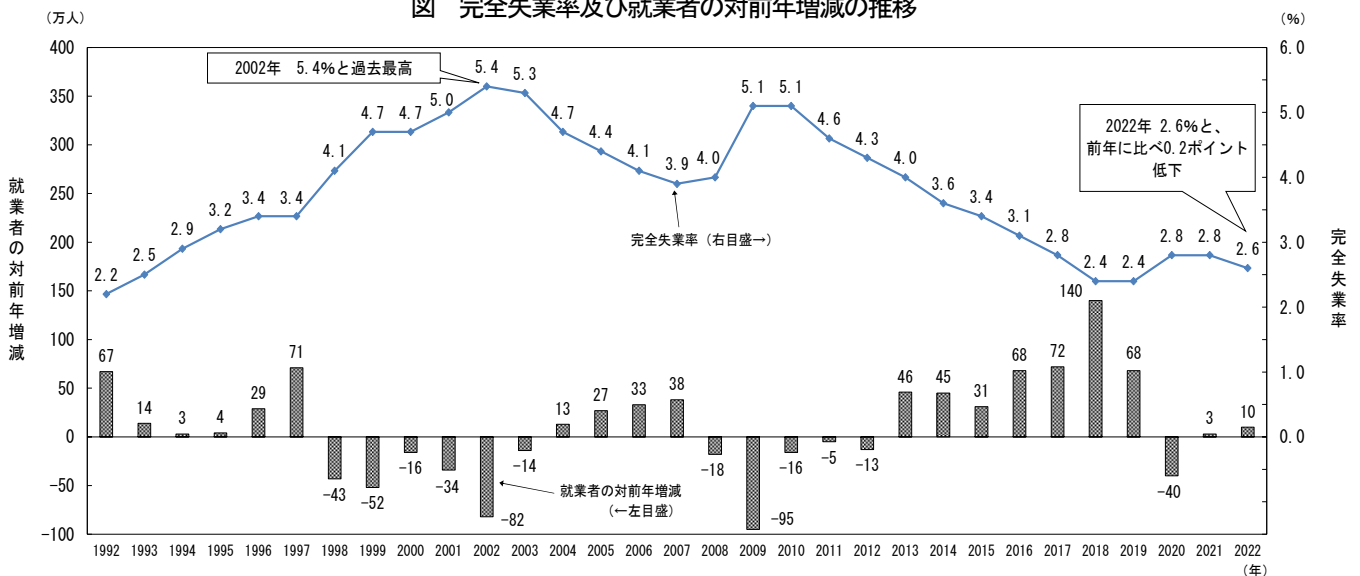


表1 年齢階級別就業者数の推移

(万人)

		男女計								男			女		
		総数	15～64歳	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上	総数	15～64歳	65歳以上
実数	2012年	6280	5684	472	1192	1514	1301	1205	596	3622	3258	365	2658	2426	231
	2013	6326	5690	483	1173	1522	1336	1177	637	3620	3231	390	2707	2459	247
	2014	6371	5689	486	1158	1523	1365	1158	682	3635	3220	416	2737	2469	267
	2015	6402	5670	488	1136	1510	1400	1137	732	3639	3196	443	2764	2475	289
	2016	6470	5701	511	1133	1484	1446	1127	770	3657	3196	462	2813	2505	308
	2017	6542	5737	517	1129	1462	1492	1135	806	3677	3194	483	2865	2542	323
	2018	6682	5822	559	1129	1444	1541	1151	860	3726	3215	511	2956	2607	350
	2019	6750	5860	575	1121	1412	1586	1166	890	3744	3215	529	3005	2645	360
	2020	6710	5808	558	1113	1363	1597	1177	903	3724	3187	537	2986	2620	366
	2021	6713	5804	554	1117	1337	1621	1175	909	3711	3174	536	3002	2629	373
2022	6723	5810	547	1110	1313	1637	1204	912	3699	3161	538	3024	2649	375	
対前年増減	2012年	-13	-38	-9	-25	11	15	-30	25	-17	-31	16	4	-7	9
	2013	46	6	11	-19	8	35	-28	41	-2	-27	25	49	33	16
	2014	45	-1	3	-15	1	29	-19	45	15	-11	26	30	10	20
	2015	31	-19	2	-22	-13	35	-21	50	4	-24	27	27	6	22
	2016	68	31	23	-3	-26	46	-10	38	18	0	19	49	30	19
	2017	72	36	6	-4	-22	46	8	36	20	-2	21	52	37	15
	2018	140	85	42	0	-18	49	16	54	49	21	28	91	65	27
	2019	68	38	16	-8	-32	45	15	30	18	0	18	49	38	10
	2020	-40	-52	-17	-8	-49	11	11	13	-20	-28	8	-19	-25	6
	2021	3	-4	-4	4	-26	24	-2	6	-13	-13	-1	16	9	7
	2022	10	6	-7	-7	-24	16	29	3	-12	-13	2	22	20	2

3. 2022年平均の就業者のうち、前年に比べ最も増加した産業は「医療、福祉」

- ・就業者を産業別にみると、「医療、福祉」は908万人と17万人の増加、「情報通信業」は272万人と14万人の増加、「サービス業（他に分類されないもの）」は463万人と11万人の増加
- ・一方、「卸売業、小売業」は1044万人と25万人の減少

（→「本文」10ページ）

表2 主な産業別就業者数の推移

（万人）

		農業、 林業	非農林業	建設業	製造業	情報 通信業	運輸業、 郵便業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	不動産 業、物品 賃貸業	学術研究、 専門・技術 サービス業	宿泊業、 飲食サー ビス業	生活関連 サービス 業、娯楽 業	教育、 学習 支援業	医療、 福祉	複合 サービス 事業	サービス業 （他に分類 されないもの）	公務
実数	2012年	225	6055	503	1033	188	340	1044	164	112	205	376	239	295	708	47	462	224
	2013	218	6109	500	1041	192	341	1060	165	111	207	385	242	300	738	55	402	229
	2014	210	6162	507	1043	204	337	1062	155	113	212	386	238	301	760	57	399	235
	2015	209	6194	503	1039	210	336	1058	154	121	215	385	231	304	788	59	409	231
	2016	203	6267	495	1046	208	339	1064	163	124	221	391	234	308	811	62	415	231
	2017	201	6341	499	1054	213	340	1078	168	126	231	392	234	316	816	57	430	230
	2018	210	6472	505	1064	221	342	1076	164	130	240	417	236	322	834	57	446	233
	2019	207	6542	500	1068	230	348	1064	167	130	241	421	242	336	847	54	457	243
	2020	200	6510	494	1051	241	349	1062	167	140	245	392	236	341	867	51	454	249
	2021	195	6517	485	1045	258	352	1069	168	142	254	371	227	348	891	50	452	250
	2022	192	6531	479	1044	272	351	1044	160	141	254	381	225	349	908	50	463	251
対前年増減	2012年	-6	-7	1	-16	-3	-12	-14	2	-1	-3	-6	-3	1	30	3	5	2
	2013	-7	55	-5	-14	-1	-4	7	-2	-2	-1	7	1	3	25	8	5	4
	2014	-8	53	7	2	12	-4	2	-10	2	5	1	-4	1	22	2	-3	6
	2015	-1	32	-4	-4	6	-1	-4	-1	8	3	-1	-7	3	28	2	10	-4
	2016	-6	73	-8	7	-2	3	6	9	3	6	6	3	4	23	3	6	0
	2017	-2	74	4	8	5	1	14	5	2	10	1	0	8	5	-5	15	-1
	2018	9	131	6	10	8	2	-2	-4	4	9	25	2	6	18	0	16	3
	2019	-3	70	-5	4	9	6	-12	3	0	1	4	6	14	13	-3	11	10
	2020	-7	-32	-6	-17	11	1	-2	0	10	4	-29	-6	5	20	-3	-3	6
	2021	-5	7	-9	-6	17	3	7	1	2	9	-21	-9	7	24	-1	-2	1
	2022	-3	14	-6	-1	14	-1	-25	-8	-1	0	10	-2	1	17	0	11	1

4. 2022年平均の正規の職員・従業員数は3597万人と、前年に比べ1万人増加（8年連続の増加）。非正規の職員・従業員数は2101万人と26万人増加（3年ぶりの増加）

- ・正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は2348万人と14万人の減少、女性は1250万人と16万人の増加。年齢階級別にみると、15～64歳は3473万人と1万人の増加、65歳以上は125万人と1万人の増加
- ・非正規の職員・従業員を男女別にみると、男性は669万人と16万人の増加、女性は1432万人と10万人の増加。年齢階級別にみると、15～64歳は1697万人と14万人の増加、65歳以上は405万人と12万人の増加
- ・役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は36.9%と0.2ポイントの上昇

（→「本文」8ページ）

5. 2022年平均の非労働力人口は4128万人と、前年に比べ43万人減少（2年連続の減少）

- ・65歳以上は6万人増加

（→「本文」16ページ）

－ 留意事項 －

2022年の結果から算出の基礎となるベンチマーク人口を、2015年国勢調査結果を基準とする推計人口（旧基準）から2020年国勢調査結果を基準とする推計人口（新基準）に切り替えた[※]。これに伴い、2015年から2021年までの数値については、比率を除き、新基準のベンチマーク人口に基づいて遡及又は補正した時系列接続用数値を別途算出した。本冊子には、この時系列接続用数値を掲載するとともに、同数値により前年比較を行っている。

※ この切替えによる変動（ギャップ）は、全国の15歳以上人口（2020年9月結果）で+26万人（新基準－旧基準）となっている。